

# 思えば遠くへ来たもんだ

【作詞】 武田 鉄矢  
【作曲】 山木 康世

1.

踏切りの側に咲く コスモスの花ゆらして  
貨物列車が走り過ぎる そして夕陽に消えてゆく  
十四の頃の僕はいつも 冷たいレールに耳をあて  
レールの響き聞きながら 遥かな旅路を夢見てた  
思えば遠くへ来たもんだ 故郷離れて六年目

2. 思えば遠くへ来たもんだ この先どこまでゆくのやら

筑後の流れに 小ぶな釣りする人の影  
川面にひとつ浮かんでた 風が吹くたび揺れていた  
二十歳になったばかりの僕は 別れた女を責めながら  
いっそ死のうと泣いていた 恋は一度と信じてた  
思えば遠くへ来たもんだ 今では女房子供持ち  
思えば遠くへ来たもんだ あの頃恋しく思い出す

3.

眠れぬ夜に酒を飲み 夜汽車の汽笛聞くとたびに  
僕の耳に遠く近く レールの響きが過ぎてゆく  
思えば遠くへ来たもんだ 振り向くたびに故郷は  
思えば遠くへ来たもんだ 遠くなるような気がします  
思えば遠くへ来たもんだ ここまで一人で来たけれど  
思えば遠くへ来たもんだ この先どこまでゆくのやら

# 思えば遠くへ来たもんだ

【作詞】武田 鉄矢  
【作曲】山木 康世

1.

踏切りの側に咲く

コスモスの花ゆらして

貨物列車が走り過ぎる

そして夕陽に消えてゆく

十四の頃の僕はいつも

冷たいレールに耳をあて

レールの響き聞きながら

遥かな旅路を夢見てた

思えば遠くへ来たもんだ

故郷離れて六年目

思えば遠くへ来たもんだ

この先どこまでゆくのかしら



# 思えば遠くへ来たもんだ

【作詞】武田 鉄矢  
【作曲】山木 康世

## 2.

筑後の流れに

小ぶな釣りする人の影

川面にひとつ浮かんでた

風が吹くたび揺れていた

二十歳になったばかりの僕は

別れた女を責めながら

いつそ死のうと泣いていた

恋は一度と信じてた

思えば遠くへ来たもんだ

今では女房子供持ち

思えば遠くへ来たもんだ

あの頃恋しく思い出す



# 思えば遠くへ来たもんだ

【作詞】武田 鉄矢  
【作曲】山木 康世

## 3.

眠れぬ夜に酒を飲み

夜汽車の汽笛聞くたびに

僕の耳に遠く近く

レールの響きが過ぎてゆく

思えば遠くへ来たもんだ

振り向くたびに故郷は

思えば遠くへ来たもんだ

遠くなるような気がします

思えば遠くへ来たもんだ

ここままで一人で来たけれど

思えば遠くへ来たもんだ

この先どこまでゆくのやら